

[部会の主な意見]

- 1 県MC協議会の開催数を指標としているが、各地区MC協議会の開催数や事後検証の数を指標とする方が整合性としてはいいのではないか。
- 2 救急車受入れ件数が少ない救急告示病院に対し、積極的にを受入れるよう働きかける必要がある。
- 3 初期救急医療体制の整備として、#7119や#8000だけでなく、県全体を包括するオンライン診療を検討する必要がある。

施策(取組)とアウトカムの整合性 (セオリー評価)

- 中間評価に向けて引き続き整理を行う。
- 件数、割合等どのような指標が適切か引き続き議論が必要。

施策(取組)の実施状況 (プロセス評価)

- 概ね適切に実施されているが、救急告示病院数等は指標は改善していても質の面で課題が残る。
- 会議の開催数を指標にしているものについては、今後別の指標とするのか検討が必要である。

施策(取組)がアウトカムに及ぼす効果 (インパクト評価)

- 21指標のうち、15指標(71.4%)が改善した。
- 個別施策に対して中間アウトカム、分野アウトカムの結果は概ね改善の成果を出している。

今後の取組方針 (総合評価)

- 現在の取組を継続しつつ、新しい指標についても他分野との整合を取りながら今後の中間見直しに向けて検討していく。